

1 磐田市戦没者・戦災死者追悼式



※写真提供 磐田市

開催概要 (平成26年度)

歳事名：磐田市戦没者・戦災死者追悼式
 会場：磐田市民文化会館
 住所：静岡県磐田市二之宮東3-2
 (JR磐田駅より 遠鉄バス「市民文化会館」下車 徒歩3分)
 日時：平成26年8月15日(金) ※例年8月15日開催
 参列者数：約400人
 連絡先：磐田市 健康福祉部 福祉課 地域福祉グループ 0538-37-4814 (直通)

式次第 (平成26年度)

- | | |
|---------------------------------|------------------|
| 1. 開式のことば | 6. 平和への想い…小中学生代表 |
| 2. 一同拝礼 | 7. 献花 |
| 3. 黙祷 | 8. 謝辞…磐田市遺族会会長 |
| 4. 式辞…磐田市長 | 9. 一同拝礼 |
| 5. 追悼のことば…遺族代表
(磐田市遺族会竜洋支部長) | 10. 閉式のことば |

式辞 (平成26年度)

平成26年度磐田市戦没者・戦災死者追悼式を挙げるにあたりまして、謹んで追悼の誠を捧げます。戦後、69年もの歳月が過ぎ去ろうとしております。先の大戦による幾多の戦いは、国内外で苛烈な戦い、祖国の繁栄と安泰を願いつつ、多くの方々が尊い命を捧げられました。最愛の内親を失われたご遺族の皆様方におかれましては、そのご心情に思いを寄せますとお慰めの言葉もございませんが、いまなお決して癒されることのない痛みを胸に、あらゆる苦難に立ち向かいながら、長い道のりを歩まれたそのご努力に対し、深く敬意を表します。

本日ここに、戦没者並びに戦災死者の御霊を慰め、二度と惨禍を繰り返さないと平和の誓いを新たにし、世界唯一の戦争における核被爆国として、戦争の悲惨さを次の世代に語り継いでいくことは、私たちに課せられた責務であります。

こうした中、本市は平成21年4月、世界の恒久平和の実現を強く希求し「核兵器廃絶平和都市」を宣言いたしました。全世界の人々が、戦争や紛争のない日々を送り、人類共通の明るい未来を創ることは、平和な今を生きる私たちの重大な使命であります。

さらに、未来を担う子どもたちに戦争の恐ろしさを伝え、平和について真剣に考える機会とするため、平成22年度から広島平和記念式典へ市内中学校から代表生徒を派遣する事業を開始し、昨年度からは小学校にも対象を広げ、今年度も市内全小中学校の代表者、34名を派遣いたしました。

去る8月5日には、平和記念公園内の原爆ドームや広島平和記念資料館の見学に加え、安田女子高等学校へも訪問いたしました。この学校は戦争当時、爆心地近くに位置していたため、多くの生徒が亡くなりました。現在の校庭には、原爆投下後、草木も生えないと言われた広島のも地で、その翌年から花を咲かせ、今なお生き続けている被爆桜があり、生徒さんたちはこの桜から接ぎ木をした苗木を大切に育て、平和への夢と希望を発信するため全国へ贈られており、生徒会の皆さんからこれらのお話を直接伺うことができました。

そして、翌8月6日。43年ぶりに雨が降りしきる中、議長、教育長、私と共に平和記念式典に参列し、広島市長の平和宣言をはじめ、安倍総理大臣のあいさつ、そして子ども代表の小学六年生お二人の平和への誓いなどを間近で聴き、さまざまなものを胸に刻んだことと思います。

本日の式典の中でも、参加者を代表して、豊田南中学校の佐藤蓮さんに、広島に行って感じたこととお話していただきます。中学生が、貴重な体験を通して、肌で感じた平和への想いをお聞かせください。

さて、我が磐田市は、平成17年に5市町村が合併し、県下5番目、人口17万人余の中核都市に発展し、来年度は、合併10周年となる大きな節目の年を迎えます。本式典のあり方についても、遺族会の皆様から、会員の高齢化など、様々な課題に関して、これまで話し合いを重ねてまいりましたが、現状を十分踏まえ、より多くの市民の皆さんに、平和や命の尊さを、さらに深く心に刻んでいただける機会となるようにしてまいりたいと考えております。

そして、多くの市民の皆さんに合併してよかったと思っただけの市となるよう、地域の思いや市民生活を大切にしながら、安全安心のための防災対策をはじめ、次の世代への確かな基礎を築くために、今やるべきことには積極的に取り組む、思いやりと笑顔にあふれ、子育てや教育が充実し、若い人たちに「住んでみたい」と言われるような、総合力ナンバーワンのまちを目指して、力強く挑戦を続けてまいります。

結びにあたりまして、諸霊の尊い犠牲により、今日の磐田市が育われたことを忘れることなく、より一層平和で明るく元気なまちづくりに邁進することをお誓いし、尊霊に対し謹んで敬弔の誠を捧げ、追悼の式辞といたします。

平成26年8月15日
 磐田市長 渡部 修

2 慰霊碑



基本情報

所 在： 磐田市緑ヶ丘霊園
 住 所： 静岡県磐田市西貝塚3557-2外
 (JR磐田駅より 遠鉄バス「わかば台団地入口」下車 徒歩5分)
 建 立 者： 磐田市
 建 立 年： 昭和53年秋
 連 絡 先： 磐田市 環境水道部 環境課 生活環境グループ 0538-37-2702 (直通)

碑 文

【表】

慰霊碑

【裏】

慰霊詞

明治以来太平洋戦争に至る間
 征きて再び還らなかつた英霊千六百十七柱
 勉学生業に励みながら戦火に殞れた
 同胞児童を含めて二百十八柱
 大陸曠野の石の下
 孤島密林の草のかけ
 綿津海の青い波間
 雲流れる大空の果
 そしてわが故郷の巷の中
 夫々の聖地に思いを馳せ
 市民有志の合力により
 市政三十周年を記念し
 こゝに改めて合祀する
 過去を忘れるものは 再び過去を
 繰返す運命にあるという
 此の碑を永遠の平和のしるしとして
 共に仰ぎ誓いあわせて
 諸霊の安らかに眠られんことを祈る
 昭和五十三年秋
 磐田市長山内克己謹書